

NEWS!

Vol.36-4
No.186
平成29年10月号
編集・発行
松浦機械製作所

立形マシニングセンタ「VX-660」販売開始

マツウラは、立形マシニングセンタ「VX-660」の販売を開始しました。

アジア勢の台頭によって立形マシニングセンタの市場価格が急速に下がり始めた2012年、マツウラは立形マシニングセンタのグローバルな市場での価格競争力を高めるため、VXシリーズの開発を行いました。VXシリーズは、いままで培ってきたMatsuuraテクノロジーをOEM機に反映させることで「Engineered by Matsuura」への新たな取り組みを行い、マツウラの品質を維持しながら低価格を実現し、お客様から高い評価を頂いています。(VXシリーズ出荷実績350台:2017年8月末時点)

今回新たに、市場からの小型VXシリーズ開発の要求に応え、VX-660 (X/ Y/ Z軸ストローク: 660/ 550/ 560mm)をラインナップに追加しました。VXシリーズは、VX-660、VX-1000、VX-1500の3機種になります。尚、VX-660は9月18日からドイツ・ハノーバーで開催されたEMO2017(欧州国際工作機械見本市)に出展しました。詳細は6ページに記載してあります。



▲VX-660

日本のヘソ 福井 No.184



福井は日本のドマン中「日本のヘソ福井」第184回目は「陶墨画(とうぼくが)」の話です。墨絵アーティスト西元祐貴氏が墨絵の技法を用いて、陶板に描くという作品を「陶墨画」といいます。西元氏は、鹿児島県出身ですが、縁あって平成27年から福井を創作の地として活動を行っています。「福井を創作の地にしてから、心がちょっと丸くなった」と語っています。福井の地が、西元氏の創作意欲を支えています。

西元氏の描く墨絵は、伝統的な技法にとらわれず、大胆さと繊細さを持ち合わせたタッチで「躍動感」、「力強さ」を追求した作品を展開しています。龍や侍

などの古典的なモチーフから、スポーツ選手やミュージシャンなどの斬新なモチーフも手掛けています。西元氏の墨絵は、描かれる対象の一瞬を閉じ込め、動き出す寸前を表現しています。作品を見た人は、常に「一瞬」に潜む躍動や生を感じ取り今までにない感動を味わいます。

西元氏の陶墨画は、初めに素焼きの陶板に専用の釉薬を筆に含ませ、少しずつ色を重ねて描きます。しかし、どんな色に仕上がるのかは、焼きあがるまで誰にも分からない状況です。描かれた陶板を窯で焼き、窯だしして再び色を重ね窯で焼く。この作業を納得いくまで繰り返し完成させていきます。西元氏のホームページ<http://yuki-nishimoto.com/jp/>から作品を見ることが出来ます。